

富山県感染症発生動向速報

(2025年第51週分・12月15日～12月21日)

■今週の主な動向

※第52週分は2026年1月6日(火)発行予定です。

○インフルエンザの報告数は、依然として多い状況です。

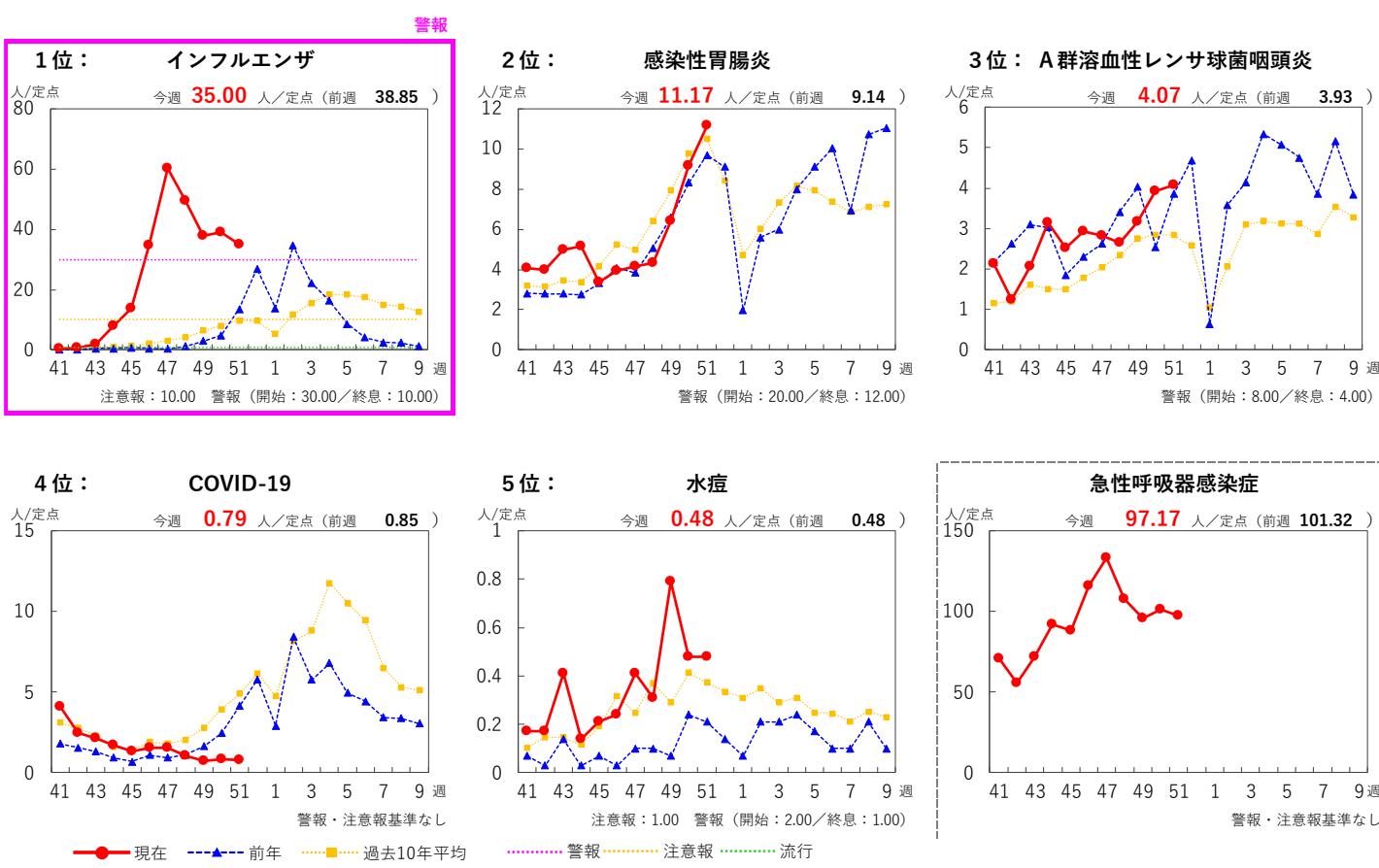
県内の患者報告数は今週 35.00 人/定点となり、先週 (38.85) から減少しましたが、依然として多い状況が続いています。引き続き、感染予防及び感染拡大防止のため、手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を心がけましょう。(インフルエンザの疫学所見、今週のインフォメーション参照)

○感染性胃腸炎の報告数増加が続いています。

小児科定点からの患者報告数は今週 11.17 人/定点となり、先週 (9.14) から増加しました。ウイルスや細菌などが主に食品や手指を介して口から入ることによって感染するため、トイレの後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗って予防しましょう。(第46週インフォメーション参照)

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位5疾患+急性呼吸器感染症 (第51週・12/15～12/21)



■全数報告の感染症

四類感染症 オウム病 1件 (80歳代、男性)

五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1件 (第49週診断分：80歳代、男性)

百日咳 1件 (10歳未満、女性)



富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL：0766-56-5431（直通） HP：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>



インフルエンザ 引き続き流行拡大に注意！

《インフォメーション》

●インフルエンザ

インフルエンザは季節性があり、例年冬季から春季にかけて流行します。流行時期に合わせ、毎年第36週（8月末～9月初旬）から翌年の第35週までの1年間をインフルエンザシーズンとして情報提供が行われています。

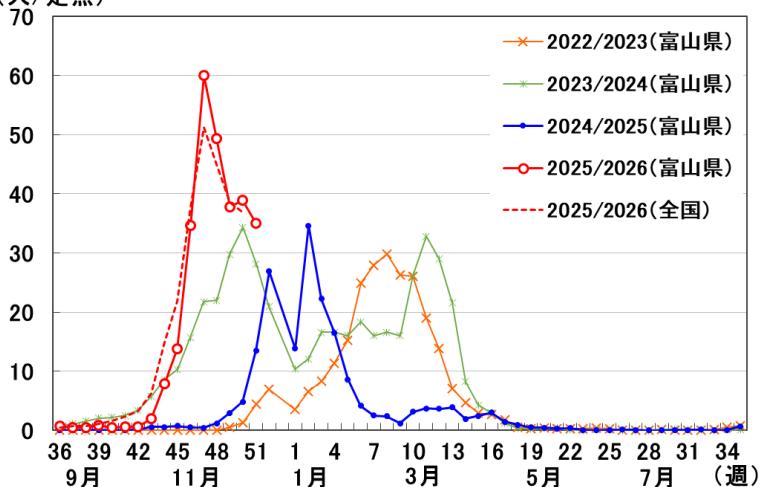
全国のインフルエンザ患者報告数は、第39週に流行入りの目安である1.0人/定点を超える後、第46週には37.74人/定点となり、警報レベルの開始基準である30.0人/定点を超えるました。全国の報告数は第47週の51.12人/定点から減少傾向にありますが、年末年始は帰省や旅行、会食などで人の移動や接触機会が増えるため、今後の流行状況には注意が必要です。

富山県では第43週に流行入りし、第46週に警報開始基準を超えた。今週は35.00人/定点の報告があり、先週（38.85人/定点）から減少しました（図、赤実線）。年代別にみると、先週と比較して、今週は10～14歳、20歳代、80歳以上で増加した一方、その他の年代では減少しました〔[インフルエンザの疫学所見（2025/2026）](#)〕。また、第51週のインフルエンザ様症状による学級閉鎖等の報告数は、47件（小学校28、中学校10、高等学校8、その他1）でした（[富山県インフルエンザ関連情報](#)）。依然多くの患者数が報告されており、引き続き動向を注視する必要があります。

定点医療機関における迅速診断キットの結果では、今シーズンはA型が主体となっています。富山県衛生研究所で9月、10月に実施したインフルエンザウイルス亜型の検出状況は、8件中7件がAH3亜型（87.5%）、AH1亜型が1件（12.5%）でした。2025年夏以降、国内外において、インフルエンザウイルスA/H3N2（subclade K）が流行の主流となっています（[厚生労働省_新型インフルエンザ等対策推進会議資料](#)）。富山県においても、10月および11月上旬に県内の医療機関で採取された臨床検体について検査したところ、インフルエンザAH3陽性5検体のうち、4検体がサブクレードKでした。インフルエンザワクチン接種には重症化予防効果があることから、ワクチン接種を検討しましょう。

インフルエンザの主な感染経路は飛沫、接触感染です。感染対策として、手洗い、マスクの着用を含む咳エチケット、適切な換気の実施が重要です。また、発熱や咳等の症状がある場合は無理をせず、外出を控えるようにしましょう。

（人/定点）インフルエンザ患者報告数の推移（全国・富山県）



○感染症発生動向調査報告状況 (2025年第51週 2025年12月15日～2025年12月21日)

分類	疾患	今週報告分 (第51週)						累積報告数 (2025年第1週 (2024年12月30日) ～)					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核							6	2	19	13	48	88
	(再掲) 結核：無症状病原体保有者を除く							5	1	12	7	30	55
	三類感染症							2	1	7	3	4	17
四類感染症	E型肝炎									5		2	7
	A型肝炎								1	1		1	3
	オウム病			1			1			1			1
	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)									1			1
	デング熱									1			1
	レジオネラ症							1	1	7	3	18	30
五類感染症	アメーバ赤痢									1		2	3
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症								4		5	9	
	急性脳炎								1	1	1	1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		4		11	16
	後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)								1		1	1	2
	ジアルジア症									1			1
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1	3	4	10
	侵襲性肺炎球菌感染症							5		8	4	24	41
	水痘 (入院例)							1		1			2
	梅毒							5	2	9	4	32	52
	百日咳						1	1	29	143	148	45	281
	風しん									1		1	
	急性呼吸器感染症 (※1)	384	472	1,316	484	1,911	4,567	12,159	11,230	41,237	10,722	52,090	127,438
		54.86	94.40	101.23	69.14	127.40	97.17						
	インフルエンザ	209	219	299	227	691	1,645	2,343	2,030	5,115	2,412	7,961	19,861
		29.86	43.80	23.00	32.43	46.07	35.00						
急性呼吸器感染症 (ARI) 定点 (47定点)	COVID-19	12	1	4	11	9	37	1,732	715	1,936	1,538	1,835	7,756
		1.71	0.20	0.31	1.57	0.60	0.79						
	RSウイルス感染症		2	7	3	1	13	76	76	383	61	412	1,008
			0.67	0.88	0.75	0.10	0.45						
	咽頭結膜熱	1	2	8		1	12	86	47	346	7	125	611
		0.25	0.67	1.00		0.10	0.41						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	2	50	17	45	118	187	303	1,911	253	2,470	5,124
		1.00	0.67	6.25	4.25	4.50	4.07						
	感染性胃腸炎	22	27	80	33	162	324	1,376	854	1,674	628	5,457	9,989
		5.50	9.00	10.00	8.25	16.20	11.17						
	水痘		2	5		7	14	11	99	99	26	336	571
			0.67	0.63		0.70	0.48						
	手足口病							4	8	60	17	70	159
	伝染性紅斑	1	2	4		3	10	153	334	796	165	1,258	2,706
		0.25	0.67	0.50		0.30	0.34						
小児科定点 (29定点)	突発性発しん		3	5	1	5	14	15	35	144	38	167	399
			1.00	0.63	0.25	0.50	0.48						
	ヘルパンギーナ	2					2	33	56	290	62	226	667
		0.50					0.07						
	流行性耳下腺炎					1	1	4	12	9	10	33	68
						0.10	0.03						
	眼科定点 (7定点)	急性出血性結膜炎								5	95		100
	流行性角結膜炎							12	19	32	26	3	92
	基幹定点 (5定点)	細菌性結膜炎				1	1				1	2	3
						1.00	0.20						
	無菌性結膜炎										1	1	2
	マイコプラズマ肺炎	1		1		2	29	10	44	40	18	141	
		1.00		1.00		0.40							
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)									5			5
入院サービスバランス (5定点)	インフルエンザ による入院患者 (※2)	1	5	1	3	6	16	25	14	31	23	58	151
	COVID-19 による入院患者				1	6	7	134	113	105	157	338	847

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週(4/7～)より開始しました。(参考: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/>)

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2025年第36週(9/1～)の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

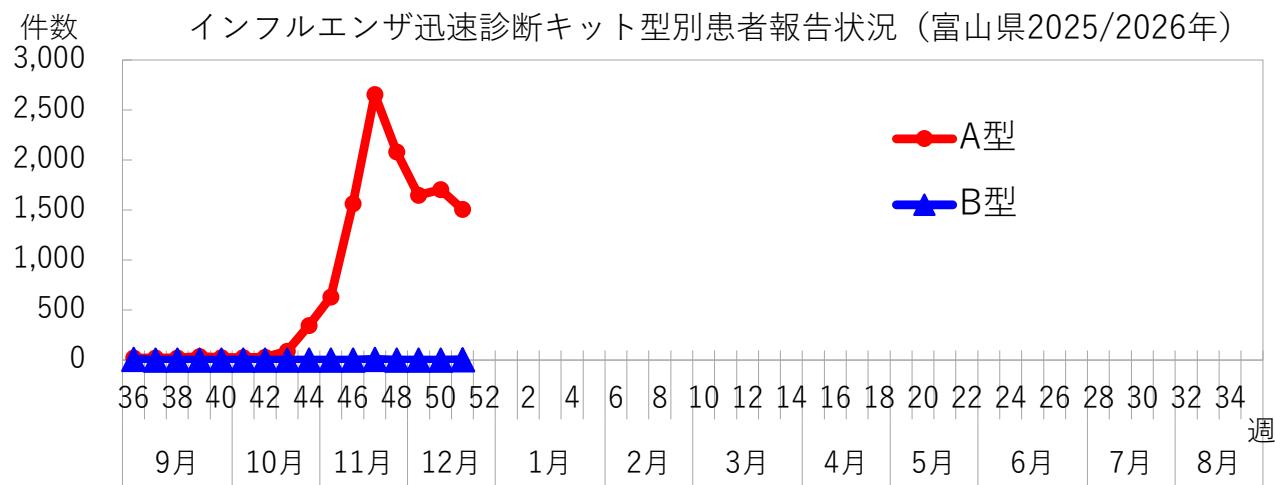
現在、下の表によると、A型が91.6%となっています。

第51週（12/15～12/21）：富山県 35.00人/定点 (単位：件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	202	1	6	209
中部	5 / 5	191	0	28	219
高岡	12 / 13	250	0	49	299
砺波	7 / 7	225	0	2	227
富山市	15 / 15	639	4	48	691
富山県	46 / 47※1	1,507	5	133	1,645
富山県累計（2025年36週～）		12,411	32	1,077	13,520

※1 47の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が46か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。

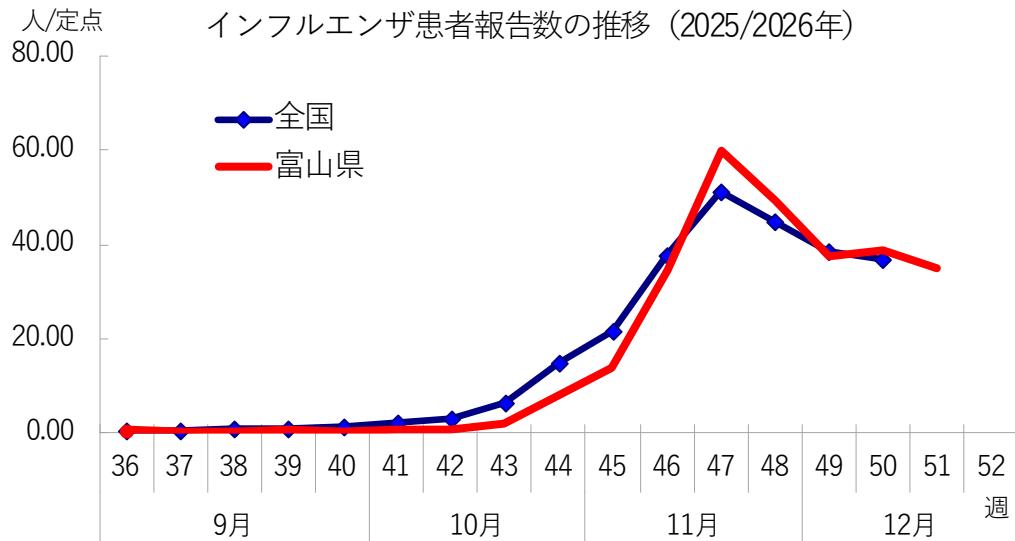


インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況 第51週（12/15～12/21）

富山県 35.00人/定点 [新川(29.86)、中部(43.80)、高岡(23.00)、砺波(32.43)、富山市(46.07)]

今週の県内の患者報告数
は、35.00人/定点となり、
先週(38.85人/定点)より減
少しました。



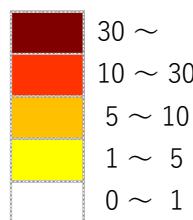
● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第50週（12/8～12/14）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり36.96人となり、前週の38.59人より減少しました。20県で前週より増加しています。27都道府県で前週より減少しています。

インフルエンザ 第50週（12/08-12/14）

全国：36.96人/定点

定点当たり



都道府県	人/定点
滋賀県	38.71 ↑
京都府	41.85 ↓
大阪府	25.23 ↓
兵庫県	35.49 ↓
奈良県	30.26 ↓
和歌山県	23.38 ↓
鳥取県	39.14 ↑
島根県	53.25 ↑
岡山県	53.68 ↑
広島県	41.00 ↑
山口県	57.75 ↑
徳島県	52.61 ↑
香川県	63.65 ↑
愛媛県	55.05 ↑
高知県	56.37 ↑
福岡県	75.39 ↑
佐賀県	48.13 ↑
長崎県	60.00 ↑
熊本県	62.92 ↑
大分県	56.28 ↑
宮崎県	99.93 ↑
鹿児島県	75.14 ↑
沖縄県	14.16 ↓
全国	36.96 ↓

都道府県	人/定点
北海道	23.25 ↓
青森県	23.96 ↓
岩手県	23.86 ↓
宮城県	24.07 ↓
秋田県	13.28 ↓
山形県	32.36 ↓
福島県	18.67 ↓
茨城県	35.49 ↓
栃木県	32.19 ↓
群馬県	30.02 ↓
埼玉県	37.94 ↓
千葉県	31.79 ↓
東京都	17.80 ↓
神奈川県	26.27 ↓
新潟県	40.20 ↓
富山県	38.85 ↑
石川県	37.53 ↓
福井県	35.79 ↓
山梨県	41.71 ↑
長野県	46.64 ↓
岐阜県	34.40 ↓
静岡県	40.99 ↑
愛知県	51.79 ↓
三重県	36.90 ↓
全国	36.96 ↓

